

【2019年度(令和元年度)医学部業績集】

1. 医学部医学科教育

平成28年度から開始していた新カリキュラムは、4年次まで移行が進んだ。4年次以降の臨床実習は既に新しいカリキュラムで進めていたため、移行が完了したことになる。以下の3点が大きな変更点である。①講義時間の短縮：従来は一コマ90分であったが、6分に短縮した。全体の講義時間は5分の4程度と座学を減らし、残った時間を自主学習やアクティブラーニングに充てる。また、学習効果を高めるため、同じ科目をまとめて学ぶブロック制を導入している。英語に関しては、帰国子女もいるなど能力の差が大きい。それぞれのレベルで学ぶことができるようにe-learningを導入した。②臨床実習時間の充実：臨床実習と高次臨床実習を併せて18ヵ月間とし、従来比1.5倍にした。6か月の高次臨床実習は、1-2か月の海外実習を組み込み、希望者は外国の病院で実習することができる。③卒業試験の時期及び時間の変更：実習時間延長に伴い、卒業試験期間に数か月の時間を割くことが困難になった。そのため、6年生の4月と9月に、国家試験形式(2日間)で実施した。新しいカリキュラムは、医学教育分野別認証の受審時にも高い評価をされており、しっかり実践していくことが大切と思われる。

医師国家試験の合格率はここ数年低迷していた。2019年度は、新卒者が130名受験し、125名合格した。合格率は96.2%と全国平均(94.9%)を上回り、国立大学では43校中16位であり、昨年(42位)、一昨年(40位)と比べ大きく躍進した。要因としては、①新作やオリジナリティが高い卒業試験問題を作成したことに加え、合格基準も厳しくして学生の理解度を深めることをできたこと。②勉強部屋での学習を促進するため、各部屋に教授を含むメンターを配置して、マンツーマンで指導を進めたことが挙げられる。教員が勉強部屋を訪室することで、学生の緊張感を高め、モチベーションを維持することにつながった。成績下位者への指導が行き届き、成績上位者からも不合格者ができることも防ぐことができた。

(2019年度 医学部長:前村浩二、教務委員長:柳原克紀、学生委員長:室田浩之、入試委員長:池松和哉)

A. 教養教育

自ら学び、考え、主張し、行動する素養の涵養を目指し教養教育改革が進められている。課題となっているテーマのもとに集められた授業科目群の中から興味のあるモジュールを選び、主体的に学習し、そのテーマに関する多面的な見方、考え方を身につける。

B. 専門教育

医学教育の国際化を進めるために、コミュニケーション力を高める科目「Communication Skill in English」を、2016年度から導入している。今後は外国人患者を診療する機会も増えることから、英語でもある程度の診療ができることが求められる。この科目は、賛否両論ある医学的問題についてディスカッションする。英語で自分の意見を述べ議論できることを目標としている。3年後期のリサーチセミナー(基礎教室への配属)においては、毎年10-15名程度が海外の大学を選択し、研究に取り組んでいる。5-6年生には、海外で1-2か月のクリニカルクラークシップ(高次臨床実習)をできる機会を設けている。これらの施設数および派遣学生の増加を進めている。2019年度

のリサーチセミナー及びクリニカルクラークシップでは、ライデン大学（オランダ）、ビュルツブルク大学（ドイツ）、ゴメリ大学・ベラルーシ大学（ベラルーシ）、アンジェ大学（フランス）、ナント大学（フランス）、トレント大学（イタリア）、ミシガン州立大学（米国）、ハーリム大学校（韓国）、プサン大学校（韓国）、慶尚大学校（韓国）、チュラロンコン大学（タイ）、シンガポール国立大学（シンガポール）に、では、計34名を派遣した。しかしながら、リサーチセミナーでは新型コロナウイルスの感染防止のため、海外派遣した学生を早期に帰国させたほか、2020年度のクリニカルクラークシップでの派遣についても、全ての海外実習を中止することとなった。一刻もはやく収束し、再開できることを祈っている。長崎大学や医学部医学科のKPI（Key Performance Indicator：重要業績評価指標）としても、海外での実習は大きなウェイトを占めている。国際的に活躍できる医師を養成できるように、より多くの学生を派遣したい。

新入生や下級生における医学へのモチベーションを保つことも重要である。医師になるべく高い志をもって入学したにも関わらず、学習意欲を失う学生も見受けられる。新入生には「ようこそ先輩」という名前の導入講義を設け、教授陣に加えて、若手教員、卒後間もない医師ならびに5、6年生の学生が教えている。様々な立場の先輩からの講義を聞くことで、学習意欲の涵養につながるものとする。

（文責：医学部医学科 教務委員長 柳原克紀）

表1 令和元年度 医学部医学科教員の教養教育への参画

A. 教養教育授業科目担当の医学部医学科教員

分野	授業科目名	担当教員
教養ゼミナール科目	初年次セミナー	金子 美穂、尾長谷 靖、志田 洋平、二口 充、林 日出喜、虎島 泰洋、吉田 光一、中路 俊、安部 恵代、北山 素、鋤塚 さやか、岩永 聡、神尾 芳幸、宇野 直輝、長谷川 寛雄、森永 芳智、賀来 敬仁、坂本 啓

【学部モジュール】

分野	授業科目名	担当教員
学部モジュール科目	医科生物学入門	永山 雄二、李 桃生、吉浦 孝一郎、小路 武彦、篠原 一之、由井 克之、村井 清人、辻 幸臣、浦田 芳重
	医学史・原爆医学と長崎	高村 昇、山下 俊一、宮崎 泰司、中島 正洋、横田 賢一、広瀬 訓、中村 桂子、宇佐 俊郎、丹藤 正治、相川 忠臣
	医学統計学	岩永 正子、三根 真理子、佐藤 俊太朗、宮本 潤哉
	Communication Skill in English	柳原 克紀、田中 邦彦、隈上 麻衣、西田 教行、Todd Saunders

【全学モジュールⅠ科目】

モジュールテーマ名	授業科目名	担当教員
生体の機能・障がい・回復の科学 テーマ責任者:北岡 隆	耳鼻咽喉領域における感覚・機能の障がいと回復	金子 賢一、木原 千春、北岡 杏子、渡邊 毅
	運動器のしくみと機能障がいと回復	富田 雅人、米倉 暁彦、辻本 律、宮本 俊之
	目の発生・多様性と障がいからの回復	北岡 隆、隈上 武志、上松 聖典、築城 英子
ヒトのからだを探る テーマ責任者:弦本 敏行	形態を科学する	田中 克己、今村 禎伸
	からだの中の反逆者・がん細胞との闘い	金高 賢悟、江口 晋、高槻 光寿、久芳 さやか
	Visible Human Body	弦本 敏行、岡本 圭史、佐伯 和信、高村 敬子

【全学モジュールⅡ科目】

モジュールテーマ名	授業科目名	担当教員
健やかに生きる テーマ責任者:小澤 寛樹	映画から学ぶライフサイクルとメンタルヘルス	小澤 寛樹
	発達症(発達障害)の理解と支援	今村 明、岩永 竜一郎、金替 伸治
	ヒトはなぜ病気になるのか?	川上 純、吉浦 孝一郎、佐藤 克也、川尻 真也
生命を多次元で哲学する テーマ責任者:池松 和哉	細胞生命を哲学する	小路 武彦、柴田 恭明、田中 邦彦、林 日出喜
	地域社会に生きる個体生命を哲学する	森 亮一、林 洋子
	社会生命を哲学する	梅原 敬弘、池松 和哉
コミュニケーションの生物学 テーマ責任者:有賀 純	地域文化と保健医療	前田 隆浩、永田、康浩、松坂 雄亮、山梨 啓友
	脳の成り立ちと働き	有賀 純、中川 慎介、畑山 実、松永 隼人
	脳神経の病気	辻野 彰、白石 裕一、立石 洋平、吉村 俊祐
エピジェネティクスと生命 テーマ責任者:伊藤 敬	エピジェネティクス	伊藤 敬、中川 武弥、米田 光宏
	発がん・がん治療とエピジェネティクス	益谷 美都子、山本 一男、増本 博司
	エピジェネティクスと免疫制御、がん免疫治療	池田 裕明

B. 教養教育関連委員会の医学部医学科委員

委 員 会	委 員
教養教育実施専門部会	柳原 克紀
モジュール科目小委員会	弦本 敏行
評価・FD教育改善専門部会	安武 亨

表2 令和元年度 1～6年次授業科目(系)責任者

学年	授業科目	責任者
1 年 次	医と社会Ⅰ	安武 亨
	人体構造系Ⅰ	弦本 敏行
	生体分子系	伊藤 敬
	発生・組織系	小路 武彦
	内臓機能・体液系Ⅰ	篠原 一之
	プレリサーチセミナー	柳原 克紀
	地域医療ゼミ	前田 隆浩 調 漸
	熱帯医学ゼミ	有吉 紅也
	国際医療ゼミ	高村 昇
	医学ゼミ	柳原 克紀
	医学英語	Todd Saunders
2 年 次	医と社会Ⅱ	安武 亨
	神経・感覚器系	弦本 敏行
	人体構造系Ⅱ	弦本 敏行
	動物性機能系	篠原 一之
	内臓機能・体液系Ⅱ	篠原 一之
	分子遺伝系	吉浦 孝一郎
	感染系	西田 教行
	免疫系	由井 克之
	腫瘍系	池田 裕明
	放射線基礎医学	工藤 崇
	プレリサーチセミナー	柳原 克紀
国際医療英語	Todd Saunders	
国際医療ゼミ	高村 昇	
医学ゼミ	柳原 克紀	
医学英語	Todd Saunders	
3 年 次	医と社会Ⅲ	安武 亨
	病理総論系	下川 功
	薬理系	有賀 純
	放射線医学	上谷 雅孝
	基礎医学TBL	永山 雄二
	循環器系	前村 浩二
	血液・リンパ系	宮崎 泰司
	呼吸器系	迎 寛
	腎泌尿器系	酒井 英樹
	感染症系	泉川 公一
	運動系	尾崎 誠
	生殖系	三浦 清徳
	臨床検査医学	柳原 克紀
	内分泌・代謝・栄養系	川上 純
	消化器系	中尾 一彦
	プレリサーチセミナー	柳原 克紀
	リサーチセミナー	池田 裕明
国際医療英語	Todd Saunders	
医学ゼミ	柳原 克紀	
医学英語	Todd Saunders	

学年	授業科目	責任者
4 年 次	医と社会Ⅳ	安武 亨
	人体構造系Ⅲ	弦本 敏行
	免疫・アレルギー疾患系	川上 純
	病理各論系Ⅲ	福岡 順也
	精神系	小澤 寛樹
	脳・神経系	川上 純
	皮膚系	室田 浩之
	視覚系	北岡 隆
	耳鼻咽喉口腔系	金子 賢一
	小児系	森内 浩之
	地域医療学	前田 隆浩
	衛生学・分子疫学	西田 教行
	公衆衛生学	青柳 潔
	外科治療学	江口 晋
	法医学系	池松 和哉
	診断学	前田 隆浩
	臨床疫学・医療情報学	前田 隆浩
	臨床薬理学	佐々木 均
	東洋医学	有賀 純
総合病理学	中島 正洋	
臨床推論PBL	柳原 克紀	
臨床実習	上谷 雅孝	
医学ゼミ	柳原 克紀	
アドバンストリサーチセミナー	柳原 克紀	
医学英語	Todd Saunders	
5 年 次	臨床実習	上谷 雅孝
	高次臨床実習	上谷 雅孝
	アドバンストリサーチセミナー	柳原 克紀
6 年 次	高次臨床実習	上谷 雅孝
	アドバンストリサーチセミナー	柳原 克紀
	臨床総括講義	柳原 克紀

表3 令和元年度 後期「リサーチセミナー」

教室名	指導教員	研究テーマ	受講学生数
第一内科	古賀 智裕	自己炎症性疾患のモデルマウスを用いたインフラマソームシグナル制御機構の解明	1
肉眼解剖学 (解剖2)	弦本 敏行 岡本 圭史 佐伯 和信 高村 敬子	各種疾患に関する臨床解剖学的研究	2
肉眼解剖学 (解剖2)	弦本 敏行	ヒト大腿骨の骨学的研究	1
肉眼解剖学 (解剖2)	佐伯 和信 弦本 敏行	大動脈弯曲の画像解析学的研究	1
肉眼解剖学 (解剖2)	村井 清人 弦本 敏行	神経細胞におけるタンパク質分解制御機構の解析	1
肉眼解剖学 (解剖2)	弦本 敏行	縄文時代人骨の骨学的研究	1
組織解剖学 (解剖3)	小路 武彦 柴田 恭明 松本 弦	ミャンマー若年性肝がんのエピジェネティック変異解析	2
組織解剖学 (解剖3)	小路 武彦 柴田 恭明 松本 弦	In situ PCR を用いたマウス精巣に於けるpgk 遺伝子位置の同定	1
組織解剖学 (解剖3)	小路 武彦 柴田 恭明 松本 弦	神経細胞内におけるオートファジーレセプターとオートファゴソームの挙動解析	2
分子生理学 (生理1)	辻 幸臣	致死性不整脈の実験モデルを用いた基礎的研究	1
神経生理学 (生理2)	篠原 一之 樽見 航	皮膚における嗅覚受容体発現の生理的意義の解明 - アンチエイジング化粧品開発を志向した基礎的研究	1
神経生理学 (生理2)	篠原 一之 樽見 航	嗅覚を介した父子間コミュニケーションの解明	2
神経生理学 (生理2)	中畑 泰和 青山 晋也	運動のタイミングと男性ホルモン応答に関する研究	1
神経生理学 (生理2)	中畑 泰和 青山 晋也	運動による概日時計制御に関する研究	1
神経生理学 (生理2)	中畑 泰和 青山 晋也	概日時計老化の生理的意義の解明	1
生化学	中川 武弥 伊藤 敬	MED複合体を標的とした分子標的抗がん剤スクリーニングの確立	1
生化学	米田 光弘 伊藤 敬	MLL複合体を標的とした分子標的抗がん剤スクリーニングの確立	1
生化学	米田 光弘 伊藤 敬	MLL複合体を標的とした分子標的抗がん剤スクリーニングの確立	1
生化学	中川 武弥 伊藤 敬	MED複合体を標的とした分子標的抗がん剤スクリーニングの確立	1
薬理学	中川 慎介 有賀 純	血液脳関門と病態	1
薬理学	松永 隼人 有賀 純	シナプス膜の分子装置と高次脳機能障害	1
薬理学	畑山 実 有賀 純	モノアミン神経の発達制御に関わる分子の探索	1
探索病理学 (病理1)	下川 功 小松 利光	肝臓のFoxO3転写因子による代謝制御機構	1
探索病理学 (病理1)	森 亮一	炎症・組織修復における microRNA の機能解析	1
探索病理学 (病理1)	朴 盛俊	エネルギー代謝の制御における Zinc finger protein 90 (ZFP90)の機能解析	1
病態病理学 (病理2)	福岡 順也	人工知能を用いた病理診断の研究	3
病態病理学 (病理2)	二口 充	髄膜腫の悪性化に関与する因子の同定とその機能解析	1
病態病理学 (病理2)	二口 充	肺癌の治療標的分子の遺伝子プロファイル	1
病態病理学 (病理2)	黒田 揮志夫	病理診断に機械学習を応用するためのラベル作成に関する研究	1
免疫学	井上 信一	マラリア原虫感染における宿主T細胞の免疫記憶と疲弊に関する研究	3
免疫学	Bayarsaikhan Ganchimeg	Cytokine-mediated regulation of the immune responses during malaria infection	1
公衆衛生学	有馬 和彦 青柳 潔	骨量を規定する遺伝的要因と環境要因	1
公衆衛生学	西村 貴孝 青柳 潔	ビタミンDと筋力・運動機能の関連	1
公衆衛生学	水上 諭 青柳 潔	身体機能と骨量の関連	1
公衆衛生学	水上 諭 青柳 潔	体組成分析	1
公衆衛生学	安部 恵代	血管内皮増殖因子と骨量・骨代謝の関連	1

教室名	指導教員	研究テーマ	受講学生数
法医学	池松 和哉	人工知能を駆使した法医学的診断法の開発	1
法医学	梅原 敬弘	凍死の死因究明に資する分子診断マーカーの探索	1
法医学	村瀬 壮彦	皮膚損傷における受傷時期診断法の研究	1
原研病理	松田 勝也 中島 正洋	甲状腺結節の病理診断に寄与する分子病理学的研究	1
原研病理	七條 和子	シスチン・テアニンのラットにおける放射線防護効果	1
原研病理	松山 睦美	ラット甲状腺の放射線感受性におけるオートファジーの影響	1
原研病理	MUSSAZHANOVA ZHANNA	Integrated genotype and phenotype characterization of papillary thyroid carcinoma	1
原研病理	赤澤 祐子	消化管疾患におけるDNA損傷応答を可視化しよう！	1
原研放射	西 弘大	放射性医薬品による生体機能の可視化	2
原研幹細胞 (旧原研生化)	川端 剛	オートファジーの異常とゲノム情報の破綻	2
原研幹細胞 (旧原研生化)	後藤 信治	放射線がミトコンドリア機能に及ぼす影響	1
原研幹細胞 (旧原研生化)	李 桃生	メカニカルストレスが細胞に与える影響	2
原研国際 (旧原研疫学)	平良 文亨	福島県における環境放射能と被ばく線量評価	2
原研国際 (旧原研疫学)	折田 真紀子	福島県におけるキノコ中の放射性セシウム濃度評価	1
原研国際 (旧原研疫学)	折田 真紀子	福島県におけるキノコ中の放射性セシウム濃度評価	1
原研遺伝	吉浦 孝一郎	ロングリードシーケンサーによる多型検出	1
原研遺伝	木下 晃	CRISPR/Cas9システムを用いた遺伝子改変と機能解析	2
原研遺伝	三嶋 博之	ヒト集団のゲノム情報をクラスター解析する	2
原研医療 (旧原研細胞)	鈴木 啓司	放射線被ばく組織における組織反応の研究	3
原研医療 (旧原研細胞)	鈴木 啓司	放射線被ばくと生活習慣との相互作用の研究	3
原研医療 (旧原研細胞)	鈴木 啓司	放射線治療によるがん細胞死増強の基盤的研究	2
原研医療 (旧原研細胞)	光武 範吏	甲状腺癌の悪性度と関連する遺伝子異常	2
原研分子	永山 雄二 蔵重 智美	甲状腺特異的オートファジー不全マウスにおける放射線誘発性甲状腺発がん機構の解明	3
原研分子	永山 雄二 嶋村 美加	マイトファジー におけるMIEAPの役割について	2
腫瘍医学	池田 裕明 安井 潔	遺伝子改変細胞を用いたがんに対する新規細胞療法 の開発	2
腫瘍医学	池田 裕明 村岡 大輔	腫瘍局所環境に注目した、難治性腫瘍に対する治療 法の開発	3
微生物学 (感染分子(細菌))	石橋 大輔	プリオンの分子病態解明	1
微生物学 (感染分子(細菌))	中垣 岳大	プリオン感染における腸内細菌叢のはたらき	1
微生物学 (感染分子(細菌))	中垣 岳大	末梢組織切片を用いた異常型プリオンタンパク検出 法の確立	1
微生物学 (感染分子(細菌))	田口 謙	細胞内凝集塊を形成するシヌクレインの細胞毒性の メカニズム	2
分子標的医学研究センター	益谷 美都子	抗がん剤のバイオマーカーの研究	1
分子標的医学研究センター	益谷 美都子	がんのホウ素中性子捕捉療法(BNCT)のバイオマ ーカーの研究	1
分子標的医学研究センター	水田 賢志	抗ウイルス剤の合成に基づく実践的創薬研究	1
分子標的医学研究センター	大滝 大樹	計算機を用いたタンパク質-薬物間の相互作用解析	1
分子標的医学研究センター	ゴウチャン プニー タ	ロタウイルス流行株の分子疫学	1
分子標的医学研究センター	金子 美穂	JCウイルスに対する薬剤スクリーニング系の確立	1
先導 放射線生物・防護学分野	山内 基弘	放射線被ばくによってできるDNA損傷の 修復メカニズムの研究	1
先導 放射線生物・防護学分野	松田 尚樹 福田 直子 (原研放射)	医療における放射線防護教育のための放射線モニタ リングリファレンスの作成	1
先導 ゲノム機能解析分野	下崎 康治	成体脳神経幹細胞の標識解析	1

教室名	指導教員	研究テーマ	受講学生数
熱研 ウイルス学	森田 公一 モイ メンリン 井上 真吾	蚊媒介性ウイルスの病原性	1
熱研 新興感染症学	安田 二郎 櫻井 康晃	高病原性ウイルスに対する侵入阻害剤の同定	1
熱研 原虫学	矢幡 一英	マラリア原虫の赤血球侵入寄生現象の解明	1
熱研 免疫遺伝	平山 謙二 水上 修作 (免疫病態制御学)	伝承医薬に基づいた新規抗マラリア薬開発研究	1
熱研 生態疫学	金子 聡	途上国における母子保健	1
熱研 病害動物学	皆川 昇	ケニアにおける子供のマラリア感染に関与する要因	1
ライデン大学	Sophie Dölleman	Impact of DOACs on microvascular destabilization in AF	1
ライデン大学	Dr. Raymond Noordam	ビタミンE代謝へのリポプロテイン濃度の関連	1
ビュルツブルク大学	Prof. Dr. Grit Hein	Who benefits most from social presence? A classification approach	1
ビュルツブルク大学	Dr. Michael Hudecek	CAR T-cell Engineering	1
ベラルーシ医科大学	高村 昇	放射線被ばくによる食の安全性に対する意識調査	1
ベラルーシ医科大学	高村 昇	ベラルーシ共和国の若年者における放射線被ばくによる甲状腺がんに対する意識	1
ベラルーシ医科大学	高村 昇	ベラルーシ共和国の住民における放射線の遺伝性影響への不安に関する解析	1
プサン大学校	Tae Ho Hwang PhD	Oncolytic virus/OTS-412	1
プサン大学校	Hak Sun Yu	寄生虫感染はアレルギー性気道炎症を改善できる	1
プサン大学校	Sun Sik Bae	Analysis of a novel receptor function in vascular smooth muscle cells	1
トレント大学	Nicola De Pisapia	Relationships between soccer players and head impacts	1
トレント大学	Nicola De Pisapia	the effect and mechanism of slow-breathing techniques	1
トレント大学	Andrea Bonassi Gianluca Esposito	Effect of genetic factor on adults' interactional patterns and virtual social	1
トレント大学	Giorgio Vallortigara	Unsupervised statistical learning in newly-hatched chicks	1

海外派遣実習生

派遣プログラム	派遣国名	派遣先	実習学生数	
高次臨床実習	シンガポール	シンガポール国立大学	4	※交流協定による海外派遣
高次臨床実習	ドイツ	ビュルツブルク大学	6	※交流協定による海外派遣
高次臨床実習	韓国	プサン大学校	1	※交流協定による海外派遣
高次臨床実習	韓国	慶尚大学校	3	※交流協定による海外派遣
高次臨床実習	アメリカ	ミシガン州立大学	2	※交流協定による海外派遣
高次臨床実習	タイ	チュラロンコン大学	2	※交流協定による海外派遣
高次臨床実習	フランス	アンジェ大学	2	※交流協定による海外派遣
リサーチセミナー	オランダ	ライデン大学	2	※交流協定による海外派遣
リサーチセミナー	ドイツ	ビュルツブルク大学	2	※交流協定による海外派遣
リサーチセミナー	ベラルーシ	ベラルーシ医科大学・ゴメリ医科大学	3	※交流協定による海外派遣
リサーチセミナー	韓国	プサン大学校	3	※交流協定による海外派遣
リサーチセミナー	イタリア	トレント大学	4	※交流協定による海外派遣

表4 A 令和元年度長崎大学医学部臨床実習協定締結施設

No.	施設名	協定年月日
1	長崎みなとメディカルセンター(旧:長崎市立市民病院)	平成8年5月31日
2	日本赤十字社長崎原爆病院	平成8年5月31日
3	長崎県病院企業団長崎県精神医療センター	平成8年6月1日
4	社会福祉法人長崎市障害福祉センター	平成8年6月1日
5	財団法人長崎県健康事業団(旧:財団法人長崎県総合保健センター)	平成8年6月1日
6	社会医療法人春回会長崎北病院	平成10年5月20日
7	江上耳鼻咽喉科・めまいクリニック(旧:江上耳鼻咽喉科医院)	平成11年5月31日
8	医療法人祥仁会西諫早病院	平成12年6月19日
9	社会医療法人財団白十字会佐世保中央病院	平成12年7月21日
10	長崎市中央保健センター	平成12年11月24日
11	医療法人友愛会介護老人保健施設にしきの里	平成12年11月24日
12	医療法人清潮会介護老人保健施設みどりの里	平成12年11月24日
13	日本海員掖済会長崎病院	平成13年5月11日
14	阿南皮膚科医院(→閉院(教室確認))	平成13年5月11日
15	医療法人北辰会久保皮膚科医院(→閉院(教室確認))	平成13年5月11日
16	独立行政法人国立病院機構長崎病院(旧:国立療養所長崎病院)	平成13年5月11日
17	ゆきなりクリニック	平成13年7月10日
18	医療法人厚生会虹が丘病院	平成13年8月7日
19	医療法人昌生会出口病院	平成14年7月18日
20	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター	平成15年6月12日
21	地方独立行政法人佐世保市総合医療センター(旧:佐世保市立総合病院)	平成16年8月1日
22	長崎県五島保健所	平成16年8月1日
23	五島市国民健康保険三井楽町診療所	平成16年8月1日
24	五島市国民健康保険玉之浦診療所	平成16年8月1日
25	岐宿町岐宿診療所	平成16年8月1日
26	山内診療所	平成16年8月1日
27	長崎県五島中央病院	平成16年8月1日
28	長崎県富江病院	平成16年8月1日
29	長崎県五島中央病院附属診療所 奈留医療センター(旧:長崎県奈留病院)	平成16年8月1日
30	五島市健康政策課	平成16年9月1日
31	社会福祉法人五島市社会福祉協議会	平成16年9月1日
32	長崎県上五島病院	平成17年9月1日
33	小値賀町国民健康保険診療所	平成17年9月1日
34	長崎県上五島保健所(旧:離島医療圏組合上五島病院)	平成17年9月1日
35	新上五島町健康保険課(旧:健康推進課)	平成17年9月1日
36	社会福祉法人新上五島町社会福祉協議会	平成17年9月1日
37	長崎県対馬いづはら病院	平成19年7月2日
38	長崎県中対馬病院(平成27年5月17日～長崎県対馬病院に統合)	平成19年7月2日
39	長崎県上対馬病院	平成19年7月2日
40	豊玉診療所	平成19年7月2日
41	長崎県対馬保健所	平成19年7月2日
42	社会福祉法人幸生会特別養護老人ホームわたづみ	平成19年7月2日
43	社団法人全国社会保険協会連合会健康保険諫早総合病院	平成19年7月2日
44	医療法人萌悠会 耳鼻咽喉科 神田E・N・T医院	平成19年7月2日
45	重症心身障害児施設みさかえの園むつみの家	平成19年7月2日
46	東京都監察医務院	平成20年5月14日

No.	施設名	協定年月日
47	宮崎内科医院	平成20年5月14日
48	医療法人衆和会 長崎腎病院（平成23年7月 桜町クリニックと統合）	平成20年5月14日
49	宗教法人聖フランシスコ病院会聖フランシスコ病院	平成20年5月14日
50	医療法人光善会 長崎百合野病院	平成20年5月14日
51	すがさきクリニック	平成20年5月14日
52	みちクリニック	平成20年5月14日
53	医療法人財団友朋会 嬉野温泉病院	平成20年5月14日
54	三菱重工業(株)長崎造船所病院(H28.4重工記念長崎病院に名称変更)	平成20年5月14日
55	医療法人栄寿会真珠園療養所	平成20年5月14日
56	三島眼科医院	平成20年5月28日
57	思案橋ツダ眼科	平成20年5月28日
58	和仁会病院	平成21年4月8日
59	地方独立行政法人 北松中央病院	平成21年4月8日
60	ホーム・ホスピス中尾クリニック	平成21年4月22日
61	県央地域広域市町村圏組合	平成21年9月18日
62	特定医療法人三校会 宮崎病院	平成22年4月14日
63	特別医療法人春回会 井上病院	平成22年4月14日
64	山根内科胃腸科医院	平成22年4月14日
65	医療法人谷川放射線科胃腸科医院	平成22年4月14日
66	医療法人社団健昌会 新里クリニック浦上(旧:医療法人社団健昌会 新里ネフロクリニック)	平成22年4月14日
67	社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 済生会長崎病院	平成22年4月14日
68	医療法人清潮会 三和中央病院	平成22年4月14日
69	東京慈恵医科大学	平成22年4月14日
70	長崎県立こども医療福祉センター	平成26年4月1日
71	独立行政法人労働者健康福祉機構長崎労災病院	平成23年5月1日
72	長崎県島原病院	平成23年5月1日
73	医療法人みどりが丘クリニック	平成25年6月5日
74	聖マリア病院	平成25年6月5日
75	長崎市消防局 中央署、北署、飽の浦出張所、松が枝出張所	平成20年5月14日
76	長崎原爆諫早病院	平成26年4月1日
77	きのしたこどもクリニック	平成26年4月1日
78	医療法人衆和会桜町クリニック（長崎腎病院に統合）	平成20年3月31日
79	国家公務員共済組合連合会 佐世保共済病院	平成27年4月1日
80	長崎宝在宅医療クリニック	平成27年4月1日
81	特定医療法人 玄州会	平成27年4月1日
82	長崎県壱岐振興局保健部(壱岐保健所)	平成27年4月1日
83	壱岐市役所 保健環境部 健康保険課	平成27年4月1日
84	井上内科小児科医院	平成27年4月1日
85	社会福祉法人 さゆり会 特別養護老人ホーム 只狩荘	平成27年4月1日
86	社会福祉法人 秀峯会 介護老人保健施設 つくしの里	平成27年4月1日
87	長崎県壱岐市民病院 ※H27. 4. 1より「長崎県壱岐病院」に改称	平成27年4月1日
88	長崎市内地域包括支援センター(20箇所)	平成28年1月8日
89	医療法人共生会 訪問看護ステーション ゆうあい	平成28年1月1日
90	セントケア訪問看護ステーション 長崎みなみ	平成28年1月1日
91	訪問看護ステーションそよかぜ	平成28年1月1日
92	特定医療法人昭和会 昭和会訪問看護ステーション	平成28年1月1日
93	医療法人社団春秋会 訪問看護ステーション太陽	平成28年1月1日
94	長崎南訪問看護ステーション“21”	平成28年1月1日

No.	施設名	協定年月日
95	医療法人友愛会 訪問看護ステーション あんこう	平成28年1月1日
96	長崎市医師会保健福祉センター 訪問看護事業所	平成28年1月1日
97	長崎県看護協会 訪問看護ステーションYOU	平成28年1月1日
98	宗教法人聖フランシスコ病院会 フランシスコ訪問看護ステーション	平成28年1月1日
99	有限会社 訪問看護ステーション かいごの花みずき	平成28年1月1日
100	合同会社訪問看護ステーションさくら	平成28年1月1日
101	合同会社 訪問看護ステーション あさひ	平成28年1月1日
102	社会福祉法人平成会 訪問看護ステーション 横尾	平成28年1月1日
103	医療法人厚生会訪問看護ステーション すみ香	平成28年1月1日
104	合同会社 訪問看護ステーション鳴見	平成28年1月1日
105	社会医療法人春回会 訪問看護ステーション“ひまわり”	平成28年1月1日
106	医療法人緑風会 訪問看護ステーションあじさい	平成28年1月1日
107	医療法人光善会 訪問看護ステーション「コスモス」	平成28年1月1日
108	医療法人常葉会 訪問看護ステーションながよ	平成28年1月1日
109	訪問看護ステーション ほっと	平成28年1月1日
110	訪問看護ステーション きんかい	平成28年1月1日
111	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター	平成28年4月1日
112	社会医療法人健友会 上戸町病院	平成29年1月1日
113	市立大村市民病院	平成29年1月1日
114	訪問看護ステーション ゆめライフ	平成29年1月1日
115	訪問看護在宅療養ステーション 桃花竿浦	平成29年1月1日
116	リハビリ訪問看護ステーション クローバー	平成29年1月1日
117	訪問看護ステーション あぶんぜ	平成29年4月1日
118	株式会社 福江薬局	平成29年4月1日
119	長崎県対馬病院	平成29年4月1日
120	いづはら診療所	平成29年4月1日
121	NPO法人 地域活動支援センター きらり	平成29年4月1日
122	対馬市社会福祉協議会	平成29年4月1日
123	医療法人 あそう眼科	平成29年4月1日
124	宮崎耳鼻咽喉科医院	平成29年4月1日
125	吉見耳鼻咽喉科	平成29年4月1日
126	重野耳鼻咽喉科医院・めまい難聴クリニック	平成29年4月1日
127	共立耳鼻咽喉科	平成29年4月1日
128	浜崎耳鼻咽喉科クリニック	平成29年4月1日
129	わたなべ耳鼻咽喉科医院 ※大村市	平成29年4月1日
130	五島市	平成29年4月1日
131	有限会社 あい調剤薬局	平成29年4月1日
132	医療法人社団杏風会 耳鼻咽喉科原ロクリニック	平成29年10月1日
133	医療法人 たしろ耳鼻咽喉科	平成29年10月1日
134	高村耳鼻咽喉科・アレルギー科	平成29年10月1日
135	宗耳鼻咽喉科クリニック	平成29年10月1日
136	小島耳鼻咽喉科クリニック	平成29年11月1日
137	佐々町国民健康保険診療所	平成29年12月1日
138	佐々町役場	平成29年12月1日
139	佐世保こども・女性・障害者支援センター	平成29年12月1日
140	わたなべ耳鼻咽喉科クリニック ※長崎市	平成30年3月1日
141	徳島大学医学部	平成30年4月1日
142	かせ耳鼻咽喉科	平成30年6月1日

No.	施設名	協定年月日
143	長崎リハビリテーション病院	平成30年6月1日
144	耀光リハビリテーション病院	平成30年6月1日
145	東京都立松沢病院	平成30年11月1日
146	いけだ内科	令和1年7月1日
147	海江田耳鼻咽喉科	令和1年7月1日